

2025.8.5

ギカイ の ひろば

◆CONTENTS

新たな議会構成が決まりました!

▶P4~P6

石畑防災広場拡張整備工事
請負契約を可決

~町の防災力強化へ~

▶P8



特集

瑞穂中学校
ゆる活スタッフ
&
参加生徒



生徒の皆さんの「やってみたい!!」をサポート

特集

瑞穂中学校

ゆる活スタッフ & 参加生徒



栗原 令奈さん(中3)

パズルをしたり、風船でバレーをしたり、勉強も楽しく教えてくれて、大好きな時間です。



高水 葵衣さん(中2)

木工室の看板づくりは楽しかったです。



村野 桃奈さん(中2)

金工室の看板づくりをしました。今はアイロンビーズで小物入れを作ることに挑戦しています。



青木 蓮さん(中3)

懸賞金付きパズルに挑戦中です。懸賞金をスタッフが楽しみにしているような(笑)。



マジックが得意なSさん(中3)

学習もボードゲームも友達と一緒になので楽しいです。トランプの手品が得意なので「ゆる活」に来てくれたら披露しようかな。



比留間 未織さん(中2)

アイロンビーズでアクセサリー作りをしています。みんなが喜ぶ作品を作りたいな。

瑞穂中学校では、「学びのテーマパーク」の時間を活用し、学習にこだわらない自由参加型の放課後活動、通称「ゆる活」を年に35回程度実施しています。ここでは、生徒が自主的に「やってみたいこと」「学びたいこと」などを見つけ、その取り組みを地域の方(7名)がサポートしています。現在、「ゆる活」では木工、アイロンビーズ、ボードゲーム、将棋、オセロ、トランプ、投資ゲーム、風船バレー、学習などを行っています。今回、5名のスタッフと参加した生徒の皆さんにお話を伺いました。



年間の活動風景



風船バレー

トランプ



森田 正男校長先生

「あいさつ、マナー、身だしなみ」「努力と挑戦」は、人間性や社会性を育てるのに最も重要です。「ゆる活」のスタッフの皆さんとの触れ合いを通じて、生徒たちが正しくたくましく育ってほしいと願っています。

ナシム nasimさん

日本に来てから日本語を勉強。日本語、英語、ペルシヤ語を話すトリリンガル。バレーボールも得意なハイパーお姉さん。



生徒の皆さんは日本語でうまく伝えられない私の気持ちを表情で感じ取ってくれます。優しい生徒たちやスタッフの皆さんに出会えて、瑞穂町に来て良かったと心から思います。

宮寺 敏彦さん

元図工の教師。趣味は木工工作、プラモデル、バイクの整備。生徒の皆さんに創作の楽しさを伝える愛されキャラ。



教室表示の看板は生徒の感性を形にするアドバイスをただけです。デザインも加工も生徒さんの自作です。完成して喜ぶ生徒の笑顔から元気をもらっています。

池谷 功さん

定年退職までエンジニア。7つの資格を持ち、趣味の書道や絵画もプロ級のハイスペックおじさん。



最終的には生徒の皆さんによる自主運営。その実現までのプロセスを生徒の皆さんに少しずつ伝えていきたいですね。いつか起業するときにあれば役立つと思います。

荻野 富子さん

着物の着付け、珠算2級、簿記2級、外国から来た子どもたちに日本語指導もしているスーパーお母さん。



漢検、英検、数学の基礎クラス、日本語指導のお手伝いを依頼されています。真剣に取り組む生徒たちや先生方のお役に立ててうれしいです。

小山 由佳さん (コーディネーター)

何事にも積極的に挑戦するアクティブなお母さん。町内会役員もしています。趣味はスキーと家庭菜園。



内気な生徒さんが、学年を超えて友達の輪が広がり、今では色々なことに積極的にチャレンジしてくれるようになりました。生徒たちの成長する場に出会えるってかけがえのない瞬間ですね。

この度、議員各位の推挙により議長・副議長に就任いたしました。職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。



●議長
小川 龍美

の充実に向けて取り組んでいかなければなりません。議会や委員会では情報収集、調査・研究を重ね、市民の負託に応えられるよう、着実に成果に結び付けてまいります。



●副議長
下澤 章夫

令和7年3月、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸に関する都市計画が決定されました。2030年代半ばの開業に向け、町モノレール沿線に伴うまちづくりの検討や地域公共交通計画の策定に着手するなど、歴史的転換期への一歩を踏み出しています。今後着実に進捗できるように、議会としてもチェックをし、後押ししていきます。また、少子高齢化が進む中、出産・子育て支援や子どもたちの健全育成・教育の充実、高齢者の方が生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりや公共交通

議会では、町政における議会の役割を明確にし、市民の福祉向上と豊かなまちづくりの進展に寄与するため議会基本条例を策定し、令和5年度からモニター制度も導入しました。市民の皆さまの声を傾聴し、議会の情報発信の精度をさらに高め、議会を身近に感じていただけるよう努めてまいります。

今後も皆さまのご協力をお願い申し上げます。



総務産業建設委員会

- | | | | | | |
|-------|-------|----------------|---------------|-------|-------|
| 川島 靖弘 | 高橋 洋子 | 古宮 郁夫 | 小川 龍美 | 下野 義子 | 奥泉 淳広 |
| | | | ●委員長
香取 幸子 | | |
| | | ●副委員長
大和 雅彦 | | | |

企画・財政、環境、防犯・防災、都市計画や産業にかかわる問題を調査します。

厚生文教委員会

- | | | | | |
|------|-------|---------------|---------------|-------|
| 浜崎 崇 | 下澤 章夫 | 森 亘 | 大坪 国広 | 井上 一也 |
| | | ●副委員長
原 隆夫 | ●委員長
榎本 義輝 | |

福祉推進、障がい者・子育て世帯・高齢者支援や健康と教育全般・スポーツ推進にかかわる問題を調査します。



新たな議会構成が決まりました！

令和7年5月15日時点の構成です。なお、奥泉淳広議員は、令和7年6月13日付で、町議会議員の職は自動失職となりました。

議会運営委員会

- | | | | |
|-------|----------------|-------------|-------|
| 高橋 洋子 | 榎本 義輝 | 下野 義子 | 香取 幸子 |
| | ●副委員長
川島 靖弘 | ●委員長
森 亘 | |



各会派の代表などで構成され、議会、委員会活動が適正かつ効率的に行えるようにします。

広報広聴委員会

- | | | | | | |
|-------|-------|----------------|---------------|-------------|--------------|
| 香取 幸子 | 大和 雅彦 | 井上 一也 | 奥泉 淳広 | 川島 靖弘 | 浜崎 崇 |
| | | ●副委員長
高橋 洋子 | ●委員長
下澤 章夫 | ●委員長
森 亘 | ●委員長
原 隆夫 |
| 古宮 郁夫 | 榎本 義輝 | 大坪 国広 | | | |

議会の活動状況を発信する広報紙の編集・発行の他、新たな情報発信の方法を検討します。



瑞穂町議会議員便乗選挙(4月20日)で、
たかし
浜崎 崇 氏が当選しました。



浜崎 崇 (自民誠和会)

昭和50年6月4日生まれ
駒形富士山245-21
☎090-6122-0010

人とのご縁を大切にしながら、ワクワクするような瑞穂町を目指します。

← 続きは次ページに

pick up!

議案第45号 瑞穂町監査委員の選任について

監査委員 小川 龍美 氏の退任に伴い、後任に古宮 郁夫 氏を選任することに同意しました。

議会選出監査委員 古宮 郁夫 氏

任期 令和7年5月12日～令和9年4月30日



令和7年第1回瑞穂町議会臨時会議案

全会一致で承認（同意）された議案等

議案第40号	専決処分の承認について(瑞穂町税賦課徴収条例の一部を改正する条例)
議案第41号	専決処分の承認について(瑞穂町都市計画税条例の一部を改正する条例)
議案第42号	専決処分の承認について(瑞穂町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
議案第43号	専決処分の承認について(令和6年度瑞穂町一般会計補正予算(第13号))
議案第44号	専決処分の承認について(令和7年度瑞穂町一般会計補正予算(第2号))
議案第45号	瑞穂町監査委員の選任について pick up!

※全ての議案の詳細はHPでご覧いただけます。



議会モニター委嘱式

～新年度スタート～

瑞穂町議会では、議会改革や活性化を推進し開かれた議会を目指すため、令和5年度より議会モニター制度を実施しています。

4月17日に委嘱式が行われ、議会モニターの方々(6名)に、副議長が委嘱状を交付しました。

議会モニターの方々には、定例会や委員会を可能な範囲で傍聴していただき、アンケートへの回答や意見を聴く会などを通じてご意見をいただきます。



基地対策特別委員会

- 高橋 洋子 ●委員長
- 大和 雅彦 ●委員
- 森 亘 原 隆夫
- 奥泉 淳広 ●副委員長
- 井上一也
- 浜崎 崇

横田基地の騒音や事故などの問題対策と国からの交付金、補助金などの増額や適正化を図るための調査や関係機関への要望などを行います。



交通対策特別委員会

- 香取 幸子 ●委員長
- 古宮 郁夫 ●委員
- 榎本 義輝 大坪 国広
- 下澤 章夫 ●副委員長
- 川島 靖弘 下野 義子

八高線の複線化やモノレールの延伸、民間バスの利便性の向上など、住民の交通に係る環境を確保するための調査や関係機関への要望などを行います。



■ 一部事務組合等議会議員

(自治体が共同出資して組織する特別地方公共団体)

- 瑞穂斎場組合議会 (瑞穂町、入間市、福生市、羽村市、武蔵村山市) 斎場の運営や周辺地域への対策などを行います。
- 下澤 章夫、高橋 洋子、川島 靖弘
- 西多摩衛生組合議会 (羽村市、青梅市、福生市、瑞穂町) 構成市町から出された燃えるごみを焼却する施設とフレッシュランド西多摩の運営全般、周辺地域への対策などを行います。
- 香取 幸子、井上一也、浜崎 崇
- 羽村・瑞穂地区学校給食組合議会 (羽村市、瑞穂町) 羽村市、瑞穂町の各公立小・中学校の給食の運営全般を行います。
- 森 亘、原 隆夫、大和 雅彦
- 東京たま広域資源循環組合議会 (多摩地域25市1町) 各焼却施設から排出された焼却灰などを日の出町の処分場で処理します。ごみの最終処分対策として、現在、エコセメント化施設を民間と共同で運営しています。
- 古宮 郁夫
- 福生病院企業団議会 (福生市、羽村市、瑞穂町) 公立福生病院の運営全般を行います。
- 大坪 国広、下野 義子、榎本 義輝

■ 協議会・審議会(外部)

(自治体共通の課題を調査、審査し、国や関係機関に改善を働きかけることを目的とした組織)

- 三多摩上下水及び道路建設促進協議会 委員 小川 龍美
- 理事 第1委員会委員(上水道) 浜崎 崇
- 第2委員会委員(下水道) 井上一也
- 第3委員会委員(道路) 下野 義子
- 不老川流域対策推進協議会顧問 小川 龍美
- 多摩地域都市モノレール等建設促進協議会 小川 龍美、大坪 国広
- 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会 小川 龍美
- 全国市議会議長会基地協議会委員 小川 龍美
- 三多摩地区消防運営協議会委員 小川 龍美
- 西多摩地域広域行政圏協議会審議会委員 小川 龍美、下澤 章夫、香取 幸子
- 協議会・審議会(町)
 - 瑞穂町都市計画審議会委員 古宮 郁夫、下澤 章夫
 - 香取 幸子、井上一也
 - 瑞穂町青少年問題協議会委員 下野 義子、榎本 義輝、浜崎 崇
 - 民生委員推薦会委員 下澤 章夫
 - 瑞穂町監査委員 古宮 郁夫

pick up2 町の防災力強化へ
議案第51号 石畑防災広場拡張整備工事請負契約について

石畑防災広場は、発災時には自衛隊などの救援部隊の活用拠点として、平時は災害用備蓄品の集積拠点として活用を想定しています。主な工事内容は次の通りです。

【工事内容】

防災倉庫3棟、雨水浸透槽5基、LED防犯灯3基、遮熱舗装工事、緑化工事(ハナミズキ、サザンカ、オオムラサキツツジ)、高さ1.8mのメッシュフェンス(全長167.48m)、南北に人の通行用の門扉を設置。

契約方法	制限付一般競争入札
契約金額	1億450万円(落札比率97.38%)
契約相手	株式会社島田(日の出町)
工期	令和8年1月30日まで

- Q 防災倉庫には備蓄用食料が保管されるが、保存、保管に問題はないか。温度対策はできているか。
- A 業者に確認をして、換気口などの取り付けを検討したい。保存温度については調査の上、必要に応じて対応していく。
- Q サザンカが選定されている。チャドクガの発生が危惧されるが。
- A 都の基準に適合しているが、チャドクガの件は認識不足があった。変更が可能か業者などに確認し、必要であれば対応を検討する。

*チャドクガ…幼虫時には、皮膚にふれるとかゆくなる毒毛を持つ。



元狭山広域防災広場に設置されている防災倉庫

令和7年第2回瑞穂町議会定例会議案

全会一致で可決(同意)された議案等

議案第46号	瑞穂町手数料条例の一部を改正する条例
議案第47号	瑞穂町監査委員の選任について
議案第48号	瑞穂町道路線の廃止及び認定について
議案第49号	令和7年度瑞穂町一般会計補正予算(第3号)
議案第50号	令和7年度瑞穂町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
議案第51号	石畑防災広場拡張整備工事請負契約について pick up2
議案第52号	瑞穂ビューパーク競技場用地取得について
議案第53号	令和7年度瑞穂町一般会計補正予算(第4号)

※全ての議案の詳細はHPでご覧になれます。

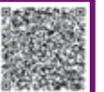


陳情

不採択とされた陳情(採択することに賛成の議員はいませんでした)

6陳情第9号	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情
--------	--

※陳情の詳細はHPでご覧になれます。



原 隆夫 議員(公明党)

再度、スクールゾーンの規制時間等の改定・見直しについて問う



教育長 規制時間を短くする考えはない



質問 令和4年9月定例会で、スクールゾーンの規制時間等の改定・見直しを提案した。全国的には、昭和47年の全国交通安全運動から運用されたが、瑞穂町は、一番古い所では昭和42年から規制を開始しており、朝の規制時間を明らかな根拠が無い中で午前9時までとしている。児童の通学時間帯は、午前7時から8時半が現状である。町民からの要望もあるため、実態に即した規制時間として第四小学校のように改定すべきと考えるが、

教育長 規制時間の設定や区間などは、地域の方々、学校、PTA、警察などが協議して設定したものと推察

し、一小南側の江戸街道は、駅利用者を含め一体的な交通規制区域としたものと考え。道路は、車両通行のためだけになく、歩行者、徒歩通学者なども利用する。子どもたち、

歩行者の安全確保が優先されるべきと考え。子どもたちの登下校の安全を確保する上で、教育委員会としてスクールゾーンの規制時間を短くする考えはない。



一小前のスクールゾーン

榎本 義輝 議員(自民誠和会)

みずほエコパークの整備と複合型遊具等の設置を



町長 健康器具などは広域的な利用を
お願いしたい

質問 エコパークは2005年に開園し、健康増進やリサイクルと環境学習を推進することを目的として設置されたが、経年劣化などにより土舗装の散策路や芝生広場は凹凸が

激しく安全な移動等が困難である。また、ドッグランも人気があり、週末ともなれば多くの家族連れが訪れている。健康器具や複合型遊具の設置を進め、さらなる魅力の向上に繋がっていくべきではないかと考えるが、所見を伺う。

町長 土舗装については、安全点検や利用者の声を踏まえながら随時修繕を行っている。今年度は芝生広場の修繕を予定していて、今後も適切な整備に努める。

また、エコパークは、町の美しい豊かな自然環境の魅力を啓発する場としている。そのため、健康器具や複合型遊具については、箱根ケ崎駅西土地画整理事業地内に新たに整備予定の公園に導入を検討しているため、広域的な利用をお願いしたい。

町長 健康器具などは広域的な利用をお願いしたい

町長 健康器具などは広域的な利用を
お願いしたい

町長 健康器具などは広域的な利用を
お願いしたい

町長 健康器具などは広域的な利用を
お願いしたい



エコパーク内で行われている森林健幸ウォーキング

質問 近年、国際社会では対立、紛争、核の脅威など不安な状況が続いている。2025年は戦後80年、被爆80年の節目であり、平和を希求する機運の高まる年でもある。そこで、これからの担う若者の

平和意識の醸成を図る一助として、広島市への小・中学生派遣事業の創設を提案したい。また、助成金の活用や被爆体験伝承者等派遣事業の活用も検討し、勉強会、交流会の実施なども含め、さらなる平和学習を進めては。

町長 広島市への小・中学生派遣事業の創設は、単独では財政面や継続性の面から見ても課題が多いため、他の団体などの協力を模索しながら、引き続き

研究を進めたい。助成金の活用や被爆体験伝承者等派遣事業の活用については、町でも平和の語り部事業を実施している。しかし、戦争や被爆の体験者は減少傾向にあり、語り部の減少を補完するためにも人材派遣事業などの研究をしていく。



下野 義子 議員 (公明党)

広島市への小・中学生派遣事業の創設と平和学習のさらなる推進を



町長 他団体などとの協力を模索しながら

研究を進める



スカイホールで行われた第21回 瑞穂町 平和のメッセージ表彰式

町長 6年度末の進捗率は、道路築造で約89%、建物移転で約92%である。7年度末の進捗率は、道路築造で約93%、建物移転で約94%になると見込んでいる。



区画整理後の道路 (殿ヶ谷地区)

町長 未同意者との折衝が課題。今まで築き上げてきた関係性を前進させ、組合との連携強化を図っていく。今後は、多摩都市モノレールの軌道となる新青梅街道や、沿道に関連した未同意者との折衝を、優先的かつ重点的に進める。

町長 7年度以降、約6億9千万円の助成金を見込んでいる。事業期間内での完了を目指していく。

町長 町全体の課題や財源配分を踏まえ、状況を見極めたい。

大坪 国広 議員 (日本共産党)

殿ヶ谷土地地区画整理事業の早期実現を

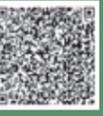


町長 事業期間内での完了を目指しているか。

町長 7年度以降、約6億9千万円の助成金を見込んでいる。事業期間内での完了を目指していく。

森 巨 議員 (自民誠和会)

「瑞穂町子ども計画」の推進方法とアクションプランを問う



町長 子ども・子育て会議の中で議論を深めよう



議論を深めよう

質問 町は令和7年3月に「瑞穂町子ども計画」を策定した。計画推進に当たっては「こどもまんなか社会」の実現に向けて、9つの目標と目標値が設定され、PDCAサイクルの考え方で進めていくとしている。しかし、この目標の中には、現状値に対して50%以上アップの数値目標を掲げているものもある。そこで次の2点を伺う。

問① 実現性を高めるための組織の見直しは。

町長 子ども計画の進捗状況の確認および審議は「瑞穂町子ども・子育て会議」が中心となり、組織の見直しは時期尚早と考えている。

問② 学校・保護者・地域の理解と協力を得るためのアクションプランは。

町長 子どもの理解を進め、協力を得ていくのかについても議論を深めよう。

質問 特別非常勤講師制度とは、教員免許を有しない専門分野を持つ社会人を非常勤講師として登用し、教科の領域の一部を担任させることができる制度である。子どもたちの教育の多様化、活性化、

大きな成長を図ることを目的としており、夢のある授業を体験できる。この制度を近隣市町村は既に取り入れている中、町も導入すべきと考えるが以下の所見を伺う。

町長 今後、防災備蓄品の循環で無駄を省き防災意識の向上を

町長 令和6年10月に、子育て部門の強化のため、子ども家庭センター課を設置するなど、行政課題の解決に向けた組織の見直しを行ってきた。現在、これらの効果を検証し、



子ども家庭支援センターひばり

浜崎 崇 議員 (自民誠和会)

特別非常勤講師制度の活用で子供たちに夢のある授業を



教育長 制度導入に向けて、各小学校の意見を聞く

町長 制度導入をする場合、導入を前提とした指導計画が必要となる。町教育委員会が人材を確保し、毎年安定して配置できることも重要。導入に向けて、近



特別非常勤講師が授業をしている様子 (青梅市立第二小学校)

町長 町全体の課題や財源配分を踏まえ、状況を見極めたい。

質問 先日、立川市の小学校にて教室に保護者の知り合いが侵入する事件があった。学校は児童・生徒が安心して学べる場ではなくてはならない。また、教員も児童・生徒に向き合うことに集中できる場

であるべきである。そこで、町内の小・中学校における安全対策について3点伺う。

問① 校門などの侵入防止対策や現在の施設管理状況について。

教育長 各校とも防犯カメラを設置し、作動中の表示をして侵入抑制を図っている。校門の施設は、利便性を考え、施設できるところを増やしていく。

問② 教室の施設や校内の防犯カメラ等の設置状況について。

教育長 各校の状況に即した対応を検討する。校舎内の防犯カメラは、プライバシーの観点から、設置は難しい。

問③ 保護者等のクレーム対応方法について。

教育長 各校の定めるマニュアルに沿い、複数体制で組織的に行う。必要に応じ、教育指導課と連携し、関係機関につなげる対応を行う。



川島 靖弘 議員 (立憲民主党)

学校の安全を守るための対策を

教育長 利便性を考え、施設箇所を増やしていく



一小の校門

こんな質問もありました
自転車ヘルメット補助金の再開を

町長 一定の成果があった。補助金ではなく交通ルール遵守の啓発活動を行う。

高橋 洋子 議員 (自民誠和会)

子ども会の現状と今後の取り組みについて

教育長 実績を上げている会の情報を発信していく

質問 少子高齢化社会などにより、子ども会の加入率が減少している。子ども会は地域の子どもたちの健全な育成と、地域住民の交流を促進する大切な役割を担っている。令和2年に策定された第2期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画では、「地域で子どもを育てる環境づくりの推進」が記載されているが、どのように推進してきたのか。また、子ども会の活動の現状と地域で子どもを育てる環境づくりについて今後の取り組みを伺う。

教育長 子ども会への支援として、子ども会連合会への補助金交付や事業の実施支援などを行った。令和7年5月現在、登録団体は8団体、小学生の加入率は13.24%で、各地域の実情に合った活動をしている。今後の取り組みは、実績をあげている会の情報を、各子ども会や子ども会がな

い町内会へ情報発信していく。

子ども会の存続については、単位子ども会や子ども会連合会などの情報交換や認識の共有を図り、時代の変化や地域の実情に応じた子ども会の形を考えていく。



石畑会館での活動

単位子ども会・地区の子ども会

奥泉 淳広 議員 (再生の会)

瑞穂町職員採用試験応募状況と職員処遇等について

町長 福利厚生事業などは、職員の福祉増進につながる

質問 人材確保が難しい雇用情勢において、町は職員の適正人数を確保するとともに働きやすい職場環境づくりに努めるべきである。そこで次のとおり所見を伺う。

問① 令和7年10月採用試験の応募状況および職種ごとの内訳は。

町長 これから試験を実施する段階の行政運営情報であり、お答えできない。直近の応募状況は、令和6年10月採用試験の申込者28人で事務職のみ、令和7年4月採用試験の申込者58人で、内訳は事務職56人、建築職1人、保健師1人となっている。

問② 職員組合が自治

労連や自治労に加入していないことで職員採用試験の応募数への影響があるか。

町長 把握することができない。

問③ 職員互助会は、職員の福祉増進に資しているか。

町長 活気ある職場づくりや会員相互の親睦に欠かせない組織であり、社会貢献につながる活動もしている。互助会や福利厚生事業を行い、それらは職員の福祉増進につながっている。



問② 職員組合が自治

令和8年4月職員採用案内



井上 一也 議員 (もっと瑞穂に笑顔)

観光プロモーションビデオをきっかけとした今後の広報戦略について

町長 多くの人から選ばれる町になるよう展開していく



町の観光PR動画

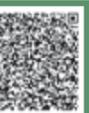
質問 町の魅力を発信するプロモーションビデオが制作され、町のYouTubeチャンネルで公開されると、約10日間で1万回の再生を記録した。ネットニュース等で取り上げられ、多くの方の関心を集められたと考える。町の子どもたちのダンスや、最新の映像技術を取り入れた内容は高く評価できる。わが町の知名度をもっと高めるため、また、来訪者をもっと増やすため、次なる広報戦略はどのように考えているか、所見を伺う。

町長 町では、観光・プロモーション係を設置してプロモーション体制を強化している。また、みずほまるを活用し、町の知名度を高め、観光PR動画は、他自治体との差別化を図られ、再生回数の増加につながった。動画の公開は結果ではなく、通点である。他の施策とどう組み合わせれば町の魅力を発信できるのか大局的に捉え、多くの人から選ばれる町になるように展開していく。

こんな質問もありました
安全・安心に向けた今後の取り組みは

町長 AED設置をコンビニ全店へ進めるほか、防犯カメラの機能を拡張し、災害時などに活用する。

質問 楽器寄附ふるさと納税は、使われなくなった楽器を、自治体を通じて学校や音楽団体等に寄附すると税金が控除される「ふるさと納税制度」を活用した新しいスタイルのふるさと納税である。返



大和 雅彦 議員 (自民誠和会)

楽器寄附ふるさと納税制度の導入を



教育長 広く全般的に調査、研究していく

礼品として、寄付者へ生徒たちがお礼の手紙を送付し、感謝の意を伝える。町内中学校吹奏楽部では、長年使用している古い楽器を修理しながら活動している。高価な楽器は個人では購入が難しいため、この制度を導入すべきと考えるが所見を伺う。

教育長 この制度は、楽器寄附ふるさと納税実行委員会が進めている事業で、参加登録料、サービス利用料、各種手数料として、年間数十万円の費用がかかる。教育委員会では、

こんな質問もありました
地域連携・民間活用した温水プールの利用を
教育長 他市の温水プールの利用料助成や民間の施設開放を導入する考えはない。



部活動で使用しているトランペット

香取 幸子 議員 (自民誠和会)

「おひさまキッチン」の運営と課題について



町長 事業の趣旨を広く周知し、さまざまな支援を継続する



質問 朝食を通じた多世代間交流を目的とした活動「おひさまキッチン」が定期的に行われている。子どもたちに好評で、参加者も増えているが、ボランティアが少なく、支援物資も不足している等の課題がある。持続可能な運営のため、

町長 地域の企業などから食材の提供などの支援が広がり始めている。ボランティアには、各地域の多世代間交流の中心的な存在となることを期待している。利用者は年々増加している。

町長 事業の趣旨を広く周知し、地域、学校などとの調整、事業に必要な環境整備などの支援を継続する。



おひさまキッチン (三小)

町長 参加者からは「朝食を友達と食べられてありがたい」や、学校からは「子どもたちが元気に挨拶できるようになった」と好評。課題は、ボランティアが固定化しており、負担感があること。

町長 地域との連携やボランティアの役割、利用者の状況。

下澤 章夫 議員 (自民誠和会)

山崎新町長の政策目標実現に向けた取り組みを問う



町長 町政において最も大切なものは「人」



質問 山崎町長は、町の直面する諸問題をとらえ、政策目標を提示された。今後、長期総合計画後期基本計画、住宅マスタープランや地域計画など町の重要な計画を策定していくが、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸と契機としたまちづくり、立地適正化計画の推進、インフラ・公共施設の老朽化対策などの諸問題が山積している。これら多くの諸問題と整合性を図りながら、政策目標実現に向けてどのように取り組んでいくのか所見を問う。

種計画や多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸を契機としたまちづくりなどの課題は、すべてが私の政策目標の実現とつながっている。各種計画や多くの課題との整合を図り、実現に向けて取り組んでいく。町政において最も大切なものは「人」で、議員・町民の皆さまの力なくしては、どんな施策・未来図も実現できない。瑞穂町がもっともっと住みやすい町になるよう、全身全霊で取り組む所存である。

町長 最上位計画である長期総合計画後期基本計画のほか、住宅マスタープランなど、各



登壇する山崎新町長

古宮 郁夫 議員 (自民誠和会)

都道179号線 (栗原地区) 整備計画について



町長 調整を適宜行い、進めていく



都道179号線 (栗原地区) の高架下

質問 都道179号線と八高線が交差する栗原地区の高架下は、危険箇所のままで時が止まっている。大型車両は、対向車との譲り合い通行により停止と発進を余儀なくされ、余計な騒音と振動は住民

の生活を悩ませている。渋滞発生と大型車両の増加もある中、難工事が予想されるこの道路整備は、区画整理事業に含まれ、都の優先整備路線であるもの

に進捗への閉塞感が強い。都との役割分担と責任の所在確認も含め、具体的な取り組みを伺う。

町長 JR八高線の高架下付近は、近年の通過車両の大型化、当該箇所の幅員減少に伴う円滑な通行の妨げなどに起因する、騒音・振動などが近隣住民の生活に影響を与えていることは承知している。課題解決のため、今後も土地区画整理事業および事業を含む都道179号線の拡幅については、栗原地区準備会との連携を強化しながら、都やJR東日本などの関係機関と、役割分担や整備手法・時期などを含めた調整を適宜行い、進めていく所存である。

～議員と話そう～

「みずほ まちなか会議」を開催します

みずほまちなか会議とは、町民と議員との対話集会です。今年度は、地区ごとにテーマを設けて、4会場で実施します。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日にち：**11月15日(土)** 午前10時～

会場：**町民会館**

テーマ：モノレール延伸を見据えた
まちづくりについて

会場：**武蔵野コミュニティセンター**

テーマ：高齢社会対策について



日にち：**11月22日(土)** 午前10時～

会場：**元狭山コミュニティセンター**

テーマ：地域活性化について

会場：**長岡コミュニティセンター**

テーマ：地域活性化について

※テーマは変更になる場合があります。詳細は後日、ホームページと広報みずほで公表します。

次回 9月定例会 (予定)

9月1日～24日

日	月	火	水	木	金	土
17 8月	18 請願、陳情の 受付締め切り日	19	20	21 議会運営委員会	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1 本会議 (一般質問)	2 本会議 (一般質問・議案審議)	3 本会議 (一般質問・議案審議)	4	5 総務産業建設委員会	6
7	8 厚生文教委員会 広報広聴委員会	9	10 決算特別委員会	11 決算特別委員会	12 決算特別委員会	13
14	15	16	17 決算特別委員会 (議員問討議)	18	19 議会運営委員会	20
21	22	23	24 本会議 (議案審議)	25	26	27

■本会議、委員会の開始時刻は午前9時30分からです。なお、広報広聴委員会の開始時刻は午後1時30分からになります。上記の日程は予定ですので、進捗状況によって、本会議が休会になる場合もございます。傍聴に来られる際は、お電話または、ホームページで日程をご確認のうえご来庁ください。

お問い合わせ 議会事務局 ☎557-7693 (直通)

編集後記



「木」と「交」わると書いて「校」。日本の学校は自然から学ぶ、自然から学べるという人に謙虚さの大切さを伝える教場かもしれません。6月から議会は新たな組織体制となりました。町議会でも未来への責任を意識しながら瑞穂町にとって、今、何が必要なのかを町民一人ひとりの声に謙虚に耳を傾けて学んでいきたいと思えます。引き続き「ギカイのひろば」へのご意見感想をお寄せいただければ幸いです。

文：森 巨

広報広聴委員会 広報部会員
森 巨 榎本 義輝
大和 雅彦 井上 一也
川島 靖弘 浜崎 崇



瑞穂町議会

検索

●インターネットで議会録画中継をご覧になれます。

〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2335
TEL/042-557-7693 (直通) FAX/042-557-4433
✉ gikai@town.mizuho.tokyo.jp